

くらしの窓すぎなみ

編集・発行：杉並区立消費者センター
杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並3階
tel.03-3398-3141

臨時 2021.12 NO.217
令和4年12月発行



「ベランダからの 子どもの転落事故」 に注意！

大掃除や部屋の空気の入替えなど、ベランダの開け閉めが多くなる季節です。行動範囲が広がり始める小さな子どもを中心に、ベランダから子どもの転落事故が繰り返し起こっています。

【事件事例】

- 自宅の2階ベランダで台に乗って遊んでいたところ、ベランダの柵を飛び越えて転落した（2歳）
- 親が外出中に、2階のベランダを乗り越えベランダの柵にぶら下がった後、足から落ちた。（6歳）

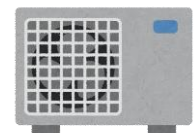
【事故を防ぐポイント！】

① ベランダ周辺環境を見直しましょう！

- ・ベランダの柵の近くにプランター、椅子、テーブルなど子どもの踏み台になるような物を置かない。
- ・エアコン室外機は、柵から60cm以上離すか、上から吊るすなど、設置場所に注意する。
- ・ベランダ出入り口には、子どもの手の届かない位置に補助錠を設置し、しっかりと施錠する。

② 見守り姿勢と子どもへの教育を心がけましょう！

- ・ベランダのある部屋に、短時間でも一人にしない。
- ・子どもだけ家に残して外出しない。
- ・子どもだけでベランダに出さない、子どもをベランダで遊ばせない。
- ・子どもにベランダからの転落の危険性について日頃から教える。





<年末年始> 帰省先など、自宅とは異なる住まいでの子どものけがにも注意しましょう！

【事故事例】

- 自宅はマンションで階段がないが、実家は階段がある。目を離したときに一人で登って落ちてしまった。(2歳)
- 自宅では手の届かないところにハサミを置いているが、実家では手の届くところにあり、気が付いたら子どもが持っていた。(1歳)
- 自宅には浴室内に転倒防止マットがあるが実家にはなく、滑りやすいタイルで転倒して後頭部をぶつけた。(1歳)

【事故を防ぐポイント！】

- ① 目を離さない、一人にしない。
- ② 危険なものに子どもの手が届かないようにする。
- ③ 少し大きな子どもであれば、危険な製品や行為を伝える。
- ④ 可能であれば、安全な環境を作る。
 - ・移動防止柵、ヒーター等への安全柵の設置。
 - ・テーブルの角にクッション材などつける。
 - ・風呂場などでマットなどを使用し、転倒防止の工夫をする。



帰省先などでの相談先も確認！



全国こども医療でんわ相談

#8000

休日・夜間の子どもの症状にどう対処したらいいか、アドバイスが受けられます。

※受付時間は各都道府県により異なります。

東京消防庁救急相談センター

#7119 (プッシュ回線・携帯電話)

ダイヤル回線、つながらない場合は
03-3212-2323 (23区)

急な病気やケガで、「病院に行くか？」
「救急車を呼ぶか？」迷ったら。

<出典>東京都消費生活総合センター、消費者庁 HP

杉並区立 消費者センター

相談専用 03-3398-3121

相談受付時間 午前9時～午後4時(土曜・日曜・祝日・12/29～1/3は休み)

